

事業概要シート

施策 1201 犯罪のないまちづくり

<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	防犯対策事業	拡充	予算額		3,418 千円
					<< 3,075 >>千円
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	財源内訳	国庫支出金		千円
			県支出金		308 千円
根拠法令要綱等	大村市犯罪のない安全安心まちづくり条例 大村市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱		地方債		千円
			その他		千円
			一般財源		3,110 千円

【事業の目的・概要・対象】

○目的：大村市連合防犯協会の事業を通して、地域における防犯活動を支援し防犯意識の高揚を図るとともに、防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯に配慮した環境づくりを促進し、安全で安心な住みよい大村市の実現に寄与することを目的とする。

○概要：防犯活動、暴力追放運動推進団体への補助金及び負担金の支出、警察及び地域と連携した防犯活動の実施、防犯灯の設置等

○対象：市民

【防犯カメラの設置】

市が管理する駐輪場（JR大村駅前、JR竹松駅）における自転車盗難等を抑止するため、防犯カメラを新設又は増設する。

【設置台数】 3台（竹松2台、大村1台）

【設置費用】 1台あたり18万（カメラ本体、設置工事、配線工事含む）
 180千円×3台＝54万円

【仕様】 本体に録画機能が内蔵されているもの

【運用】 大村市防犯カメラ設置及び運用に関する要綱に基づく



【背景】

本市は、自転車の利用者が県内で最も多く、それに伴い自転車の盗難件数も多い状況である。大村市駐輪場及びJR竹松駅駐輪場内における自転車盗が多く発生していることから、大村市駐輪場に1台増設、また、新たに竹松駅駐輪場に2台防犯カメラを設置し、犯罪の抑止と事件事故の早期解決を図る。

担当課	総務部安全対策課	課長	針山 健
担当者	平野 幸恵	問合せ先	0957-53-4111（内線214）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	防犯灯設置数	基	101	86	80	60	60
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	刑法犯の発生件数	件	411	338	300	300	300
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	3,455	2,724	3,075	3,418	3,418	3,418	19,508
国庫支出金							0
県支出金	342	295	295	308	308	308	1,856
地方債							0
その他							0
一般財源	3,113	2,429	2,780	3,110	3,110	3,110	17,652
人件費	3,029	3,065	2,909	2,911	2,911	2,911	17,735
職員(人)	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	2.40人
時間外勤務(h)	60h	78h	0h	1h	1h	1h	141h
嘱託員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	6,484	5,789	5,984	6,329	6,329	6,329	37,243

妥当性 (市の関与)	安全で安心なまちづくりの推進を図るため、市が行うのは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	防犯カメラの設置により、犯罪の抑止と早期解決に一定の効果がある。また、地域住民の防犯意識の高めることとなり、犯罪の発生件数の減少につながる。
効率性 (コスト)	必要最小限のコストで計画しているため、削減の余地はない。

1次評価	防犯カメラは犯罪を抑止するだけでなく、防犯カメラの映像が犯罪の解決につながることも期待でき、安全・安心なまちづくりに欠かせないものであるため。
2次評価	1次評価のとおり